



社会福祉法人 聖音会

第9号

# 明日へ

平成24年5月14日発行

児童養護施設 鎌倉児童ホーム

(発行責任者 園長 秦晴彦)

編集:豊本洋平)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

若草萌える季節、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

平成23年4月1日より、園長職を拝命いたしました。1896(明治29)年の7月20日に創設者佐竹音二郎先生が「小児保育院」の看板を掲げられてから、「他人の子をわが子の如く、保(やす)んじて育てる」という創立者のキリスト教の精神を脈々と受け継がれてきています。この精神に基づき、園長としての職責を全うしたいと思います。

平成23年度は児童養護施設を取り巻く環境が激変する分岐点になるかもしれない出来事が起きました。行財政改革に伴う、平成23年7月児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会とりまとめが示されました。そこには、児童養護施設が地域子育て支援をする機関としての積極的な役割が記載されています。現在、様々な形で、地域支援を行っていると思っておりますが、身近でより具体的な子育て機関として鋭意努力していく必要性を感じます。創設以来行ってきたことを大きな幹とし、さらに枝葉を充実させていきたいと思っております。そのため今年度は職員の配置基準も、6名の学童に対して1人から5.5人への引き上げが行われることが決まっております。将来的には4人への引き上げが検討されています。今取り組んでいる重点事項として、施設が抱える「養育者が変わってしまう」という問題点について、真摯に取り組んでおります。職員の勤務時間は子どもの起床時間から就寝時間まで。その日々の積み上げが途切れることがないように、職員の増員は不可欠であるとの思いから、一人でも多くの職員の雇用ができるようにできる限りの事を行っていきたく思います。鎌倉児童ホームで暮らしている子どもたち一人ひとりのよりよい育ちのために、職員はみな日々奮闘しておりますので、職員配置基準増加については、一日も早い実現を行政はじめ、皆様のバックアップを切望いたします。

ボランティアの皆様、ご寄付をいただける皆様をはじめ、子どもたちが通う学校関係者の皆様、地域の皆様に様々な形でサポートをしていただけることに本当にありがたい気持ちです。非常に厚かましいことだと承知しておりますが、今後とも同様のサポートをお願いしつつ、この広報誌「明日へ」を通じ、等身大の今の鎌倉児童ホームを皆様に伝えられればと思います。



第83回園の友会記念撮影 (H23年8月28日)

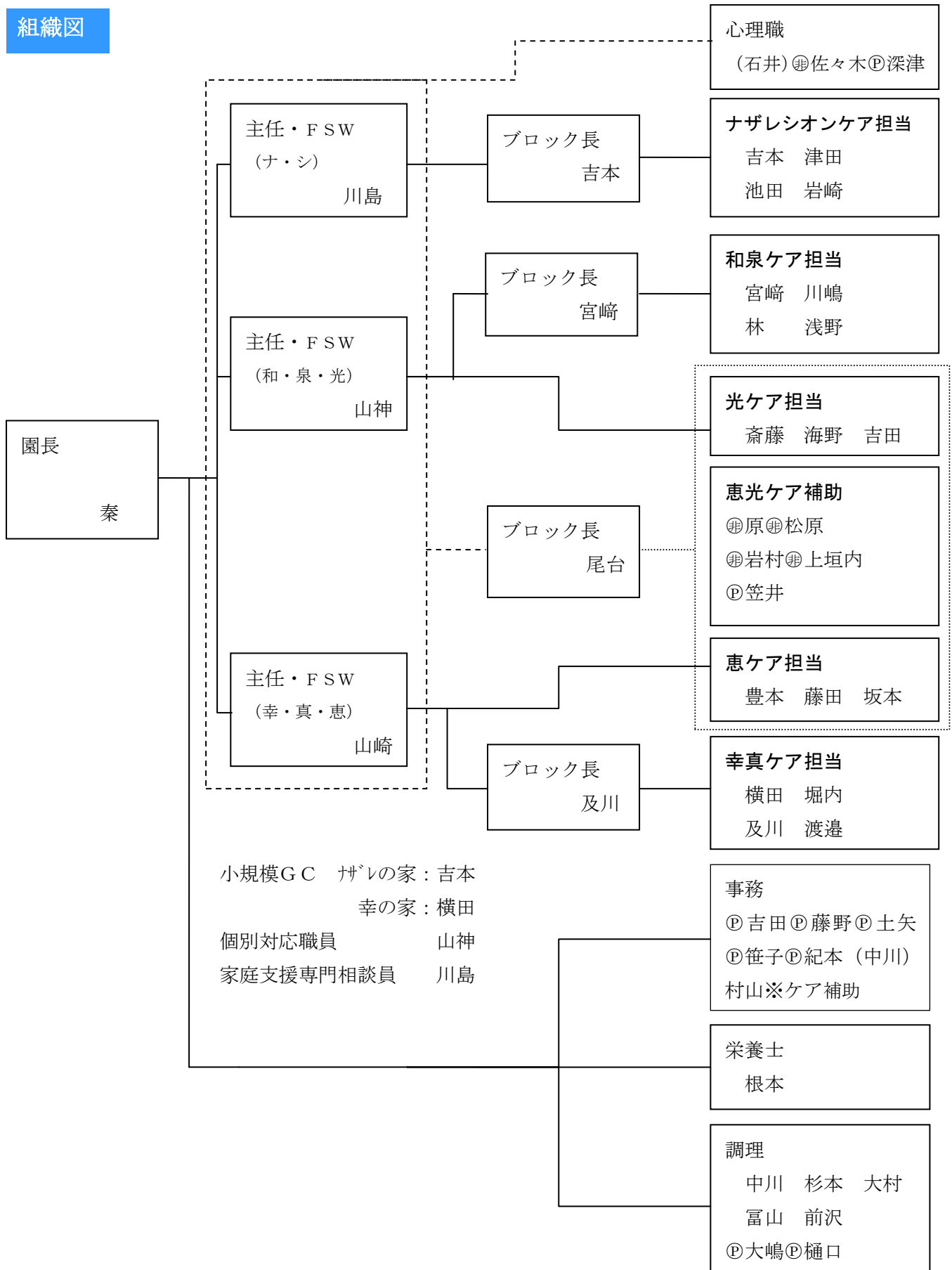
# 鎌倉児童ホーム 2012 年度体制のお知らせ

鎌倉児童ホームでは、「職務実践の手引き」を作成し、年度ごとに改訂いたします。

当ホームのケア体制をご理解いただくために、手引きの中から「組織図」「2012 年度目標および主要課題」

「定款・規程・児童指導マニュアル・ルール等の相関図」を抜粋し、掲載させていただきます。

## 組織図

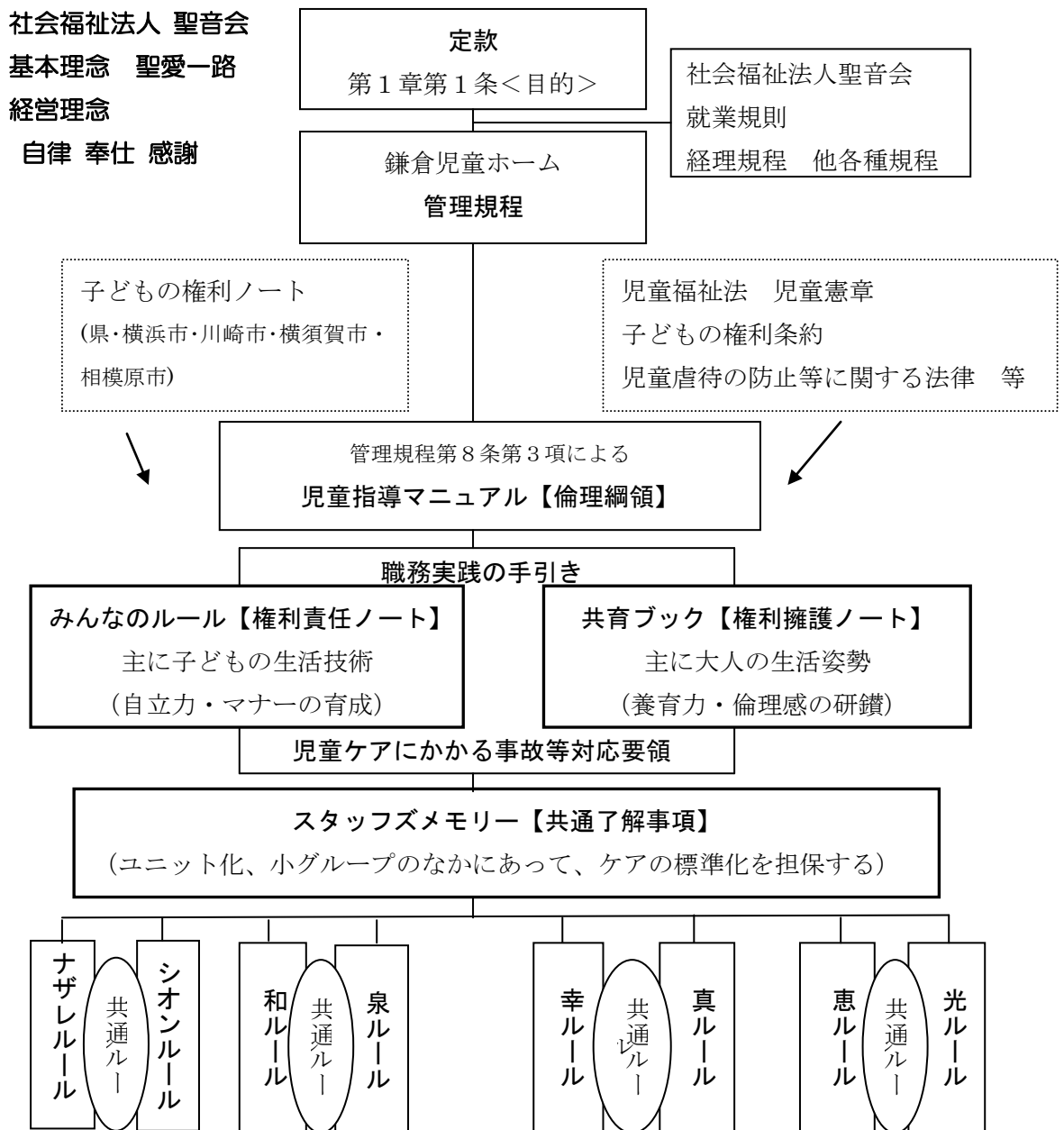


# 「みんなですてきな鎌ホを作れ！ Stage-9」

平成二十四年度目標及び主要課題

- ① 権利擁護システムの強化  
～ 安全で安心できる生活の保障の明示と実践 ～
- ② 性教育の展開 (“生”教育の強化)  
～ 研修機会の充実と誕生日を起点とした生教育の実践 ～
- ③ 園長3主任4ブロック長 体制の確立  
～ 新入職員教育を伴うチームワークの強化 ～
- ④ 全体ルールの再整理・積み上げ  
～ ルール、規程の修正と児童との対話による周知理解 ～
- ⑤ 児童自立支援システムの活用  
～ ライフヒストリーから、全ケースの把握に向けた取り組みの開始 ～
- ⑥ アフターケアについての取り組み  
～ 退園児童の情報収集及びフォローアップ、園の友会への参加の呼び掛け ～
- ⑦ 職員へのメンタルヘルス  
～ チームアプローチによる相互フォローアップ体制の構築 ～
- ⑧ 地域社会との連携  
～ オレンジリボンたすきリレー 児童虐待防止啓発活動への協力 ～

定款・規程・児童指導マニュアル・ルール等の相関図



# チャリ旅

～日本列島沿岸を自転車で一筆がき～

## 中間報告 2011 年度編

地図上の赤いラインが  
これまでの軌跡です。



「チャリ旅 日本沿岸を自転車で一筆がき！」

H12年の夏に開始以来、11年が経過しました。

昨年の夏には、大阪府大阪市から山口県周南市までの383kmのみならず、遂には四国にまで上陸を果たし、香川県高松市から安芸郡安田町までの362kmもプラスされました。北は青森県から南は山口県と高知県まで総走行距離は計3509キロになります。

だんだん遠方へ行くにしたがってさまざまな課題も出てきました。資金面の問題、現地までの送迎の問題、現地での緊急対応の問題、ある程度ツーリングに適した自転車の確保の問題・・・等々。

それらをクリアして何とか今後も継続していきます。

(ケア担当 豊本洋平)

# 浮くっしょん、全児童に配備へ

鎌倉児童ホームの津波対策として



(株)モンベルHPより

昨年、神奈川県津波浸水想定検討部会から、鎌倉市の津波想定規模がこれまでの5mから3倍近い最大14.5mになると発表がありました。

鎌倉児童ホームは海岸から1.2km、海拔15mの場所に位置しています。そして、約75人前後の子ども達がここで生活しています。

東日本大震災以降、園の津波対策としては、避難訓練で津波警報が発令された際を想定して屋上へ避難すること等を実施してきました。ですが、さらに加えて何か有効な手段がないかとずっと考えてきました。

東日本大震災で亡くなった方の約9割が溺死といわれています。裏を返せば、津波にのまれても仮に浮くことができたとしたら、多くの尊い命が助かる可能性があったということになります。

つまり、津波対策は「高台への避難」と同時に「浮く」ということを如何に確保するか、が何より大切なことなのです。

私事ですが、僕は趣味でカヤックをやっています。カヤッカーでライフジャケットを着用しないで乗る人はまずいません。水の上においては沈むことは即ち死を意味します。「浮く」ということが命を守る大前提なのです。

浮くことで園の子ども達の命が守られるのだとしたら、そこに焦点を絞った何かを…、そこで行き着いたのがモンベル製・座布団型ライフジャケット「浮くっしょん」でした。

これは普段は折りたたんで座布団として使え、カバーから出すとライフジャケットになるという商品で、素材、浮力ともかなりしっかりしており、ライフジャケットとしての機能としても検定品と同レベル。さらには泳げない人でも大丈夫なように、自然に仰向けになり頭が浮くようなつくりになっているとのこと。これなら違和感なく日常の生活空間に置いておけるので、いざというときにすぐに持ち出せるし、泳げない小さな子ども達にも対応できるので、万が一の事態への備えとしては最良ではないかと考え、園としては全児童分（勤務職員人数分も）揃えようということになりました。

納品は6月頃になる予定ですが、全員分が揃った時点で鎌倉の海をよく知る地元のシーカヤックアウトフィッターにお願いして、鎌倉のハザードマップの説明、装着についてのレクチャー、流された場合の注意点（フローティングポジションのとり方）、実際水に浮いてみる体験、その他普段から水と親しんでゆくための教育的プログラム等をお願いしてゆく予定としています。

想定外はいつなるとき来るかわかりません。備えはやってやりすぎなことはないとおもいます。子ども達を守るための心構えを常にしておける園でありたいとおもっています。

主任指導員：山神裕一郎

# ザ・鎌ホベストファイブ

鎌ホのここが好き 編

## 1位 「みんなで遊べて楽しい」 51点

グラウンドが  
広い  
21点

いろいろなところに  
お出掛けができる。  
11点

講堂で  
遊べる  
1点



サッカーが  
できる  
6点

バスケットが  
できる  
6点

ポケットパークで  
遊べる  
6点

## 2位 「食事が楽しみ」 26点



ごはんがおいしい  
多数

目玉焼きが好き  
(真の家から多数)

## 3位 「設備や環境が良い」 20点

ベッドがある 4点

テレビを見れる 4点

おもちゃで遊べる  
2点

畑の木の上が好き 1点

個室がある 2点



和室がある 1点

環境が良い 1点

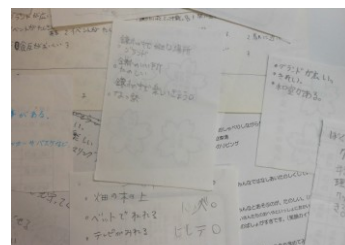
地震に強い 1点

鎌倉にある 1点

駐車場がある 1点

駅に近い 1点

コンビニに近い 1点



## 4位 「鎌倉全部大好き」 17点



みんなで  
遊べる  
10点

楽しい  
5点

ぜんぶ  
だいすき  
2点

## 4位 「雰囲気が好き」 17点

たくさんの大人が  
見守ってくれる  
7点

真の家での  
夕食の時間が楽しみ  
3点

お誕生日が楽しみ 2点

和の家が好き 1点

ホームの中が好き 1点

林さんが好き 1点

18歳を過ぎてほしい 1点

施設外のいろいろな人とも出会える 1点



## 5位 「行事が楽しみ」 14点

行事やイベントが楽しみ 8点

いろいろな習い事ができる 3点

クリスマス会が好き 2点

フリーマーケットが好き 1点



もうすぐ「ベスト5」

- ・お小遣いがある
- ・靴を買ってくれる
- ・ピアノが弾ける
- ・クリスマスプレゼントが楽しみ
- ・美男美女が多い
- ・音楽を聞ける
- ・Sちゃんがやさしい
- ・ドライブに行ける

今年の4月に、全入所児童（2歳から18歳の子どもたち73名）を対象に「『鎌倉児童ホームの好きな所を1人、3点まで、あげてください』アンケート」を実施したところ、有効総回答数として149点が集まりました。年少児と年長児からは1点集中の回答が続く中、小中学生からは多数の回答が寄せられました。

回答形式にいろいろとバラツキもありますので当ホームの子どもたちの総意とは言い切れないかもしれませんが、参考にさせていただくと幸いです。

アンケート結果を見ると、いろいろと考えさせられます。

鎌倉児童ホームでは職員と子どもをあわせると100名近くの大家族での生活となります。

時には、この大家族での生活を不便に感じることもあるかもしれません。

同時に、子どもたちは「大家族だからこそ、地域の方々やボランティアの方々など、たくさんの方々が集い、いろいろな経験をさせていただくチャンスも広がっている一面」も受け入れている様子です。

鎌倉児童ホーム在園中の際に、将来の自立に向けて、「困った時に人に相談する力」「困った時に相談できそうな人」を見つけ出していけることを願っています。

## 3月には3名が卒園生いたしました。

3月4日には卒園式が開かれ、3名が卒園いたしました。

卒園生と同じ家で生活してきた仲間からは、応援メッセージを込めたドキュメンタリー映像の披露、日常の様子映像に合わせた歌のプレゼントがありました。

卒園生からは遠く離れていても、これまでの思い出やみんなのことを大切に思っているとのメッセージを込めた歌の披露がありました。

ご出席いただいたお客さまからも温かい言葉を賜りました。

無事にこの日を迎えることができたのは、いろいろな方々からのご協力によることを、改めて実感させられました。

卒園生と今後もこれまでと同じような関係を継続させていくことが我々の願いです。

(ケア担当 豊本洋平)



卒園生からの歌のメッセージ



卒園生以外の子どもたちは、出し物で活躍する以外にも「習字による看板作製」「会場の後片付け」など、様々な形で参加しています。

## ボランティアさん大募集！

鎌倉児童ホームでは、定期的に来ていただけるボランティアさんを募集しております。

「1対1の学習ボランティア」「清掃なども含む家事のボランティア」「子どもたちの日常生活に関わっていただく生活ボランティア」など様々な形でご協力いただきたく思います。

お問い合わせは鎌倉児童ホーム（電話：0467-22-0424 E-mail：kamakura@seionkai.or.jp）

担当：山神 まで